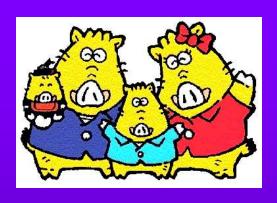
ITを用いた多職種連携情報共有基盤 ~すさみ町地域見守り支援システム~

和歌山県西牟婁郡すさみ町

すさみ町の概要



人口 4,764人

男 2,281人

女 2,483人

世帯数 2,336戸

高齢化率 41.0%

75歳以上 24.9%



サービス構築の目的

- ・現在、我が国は、世界で最も速い少子高齢化がすすむ国のひとつであり、 医療等を取り巻く環境は、急激に変化している。特に地方部での医療不足が 加速し、十分な医療サービスの提供が出来ない医療機関の増加や、介護従事者 やヘルパーの激減など、医療・介護・福祉体制の地域格差が問題視されている。
- ・本来、国民は、どこにいても、満足を得られる医療・介護・福祉サービスが提供 され、安心して生活を送れるべきであり、現在、このような医療・介護業界の崩壊 への早急な対応が求められている。
- ・中山間地域に位置し、過疎化、高齢化、医療・介護の資源不足という課題を 抱えるすさみ町は、今後の日本が突入する高齢化社会の一つの局面として 捉えることができる。
- ・このような地域での、ITを活用した見守りのあり方を確立することにより、 同様に資源が限定されている地方においての課題解決のみならず、 より汎用的な資源の最適化を考える上での、有効なモデルとして考えられる。

すさみ町地域見守り支援システム

①医療情報(CSI社 MIRAIs EX)



医師



入院、外来患者の 処方などの診療情報 を提供

看護師

③健康診断•予防接種情報 (デジタルファイル)

健診情報、予防接種 施行情報などを提供





②在宅情報 (シャープ社 ザウルス)

癌末期 退院早期 介護•看護



ヘルパー



看護師

見守り」 情報

4緊急通報システム (日常生活活動情報)

一人暮らし高齢 者等を見守る。 屋内にセンサーを 設置し、異常時には 自動通報



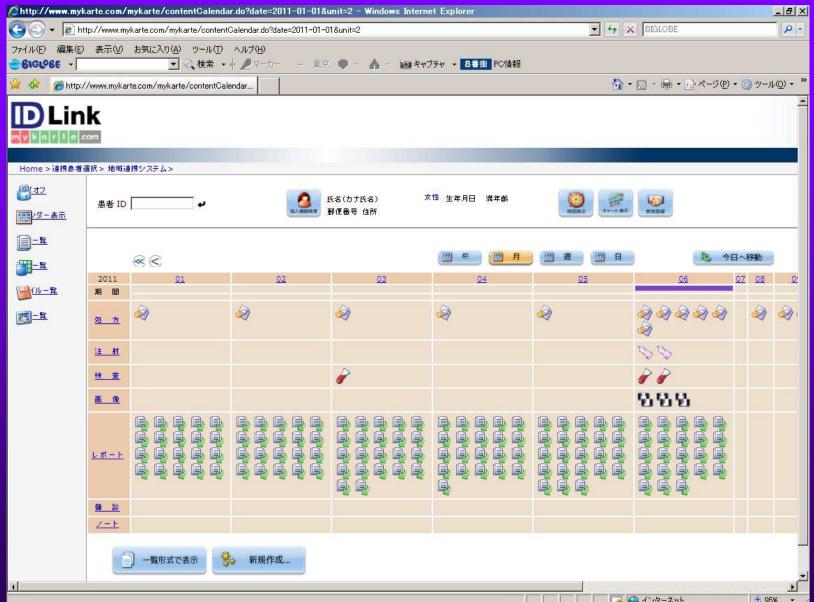


高齢者など

在宅患者・利用者の情報を提供

高齢者

情報共有画面

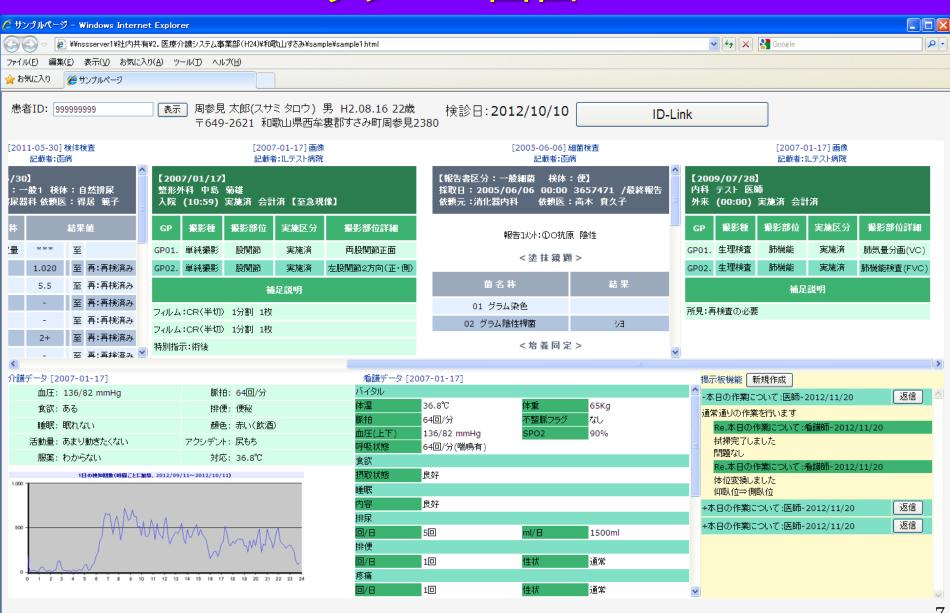


時系列に詳細なデータが閲覧できるが、全体像が把握困難5

ラッパー画面配置図



ラッパー画面

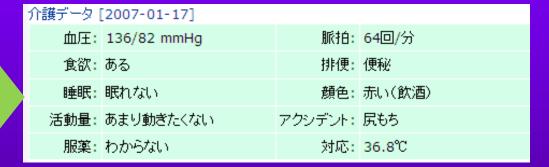


ページが表示されました

インターネット

訪問介護

訪問看護も同様



訪問介護員が訪問時に 携帯情報端末で入力

自動で情報共有データベースに出力自動で記録・レセプト請求を行う

啓蒙活動

出前講義

- 2008年6月から開始
- 住民に医学知識を持ってもらい、 身体は自分で守ることを目的とする
- 22回27地区 (1年間)634人参加(人口5079人の12.5%)

町広報の活用

身近な話題を中心に医学知識を 持ってもらうことを目標とする





考察①

現在のすさみ町の高齢化率は2055年の日本の高齢化率と同率と推計されている

すさみ町の現状を改善するとともに、来るべき高齢化社会へ対応できるモデルの構築が必要

若干の改善は必要であるが、十分実用に 耐えるシステムとなっている

このシステムを構築したことで、多職種間の連携が 緊密になったと同時に、構築にあたって、会合を くりかえしたことにより各部門の意思疎通が良好と なった

考察(2)

継続して運用できるように、運営・維持費用は可能な限り抑えたため、システムは必要最小限となっているが、オプションの増設が容易に行えるように設計している

初期費用はかかるものの、財政規模の小さい自治体でも継続運用は容易である

マイナンバーなどの導入は必要であるが、このシステムが複数地域で運用できれば、互いを連結することにより低価格でシステムダウンに強い広範囲なネットワークの構築が可能である